

訓練カリキュラム

訓練科名	区 分 訓練科名 (県北校) 介護職員初任者研修・ 福祉用具専門相談員科(10月コース)	訓練対象者	離転職者
訓練期間	平成30年10月～平成30年12月 月) (3カ)	訓練終了後 に想定される 就職先	医療法人、社会福祉法人、訪問介護事 業所、デイサービス、宅老所
訓練目標	介護職員初任者研修及び福祉用具専門相談員の資格取得を目指し、専門的な知識や技能・技術を身に付けるだけでなく、職務にあたるうえでの基礎的知識・技術・基本姿勢などを習得し、今後介護福祉士をめざす人にもより専門的な知識・技術・技能を獲得して行くための基盤となるよう育成していく。		

		科 目	科 目 の 内 容	訓練時間
訓 練 の 内 容	学 科	A介護職員初任者研修	≪介護職員初任者研修講座座学≫ ①職務の理解 ②介護における尊厳の保持・自立支援 ③介護の基本 ④介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ⑤介護におけるコミュニケーション技術 ⑥老化の理解 ⑦認知症の理解 ⑧障害の理解 ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術 ⑩振り返り 修了評価試験	80
		B福祉総合講座	施設の取り組みや専門家の講座、事例紹介、実習の復習、介護技術の復習、普通救急救命講習(AED講習)、レクリエーション技術、コミュニケーション技術	65
		C就労・就職支援	個別面談や履歴書の書き方、自己アピール、施設見学、就職アドバイザーによる相談会、職場の選び方、面接の準備、入職後について、質問等	30
		D福祉用具専門相談員講座	≪福祉用具専門相談員養成講座≫ 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割 介護保険制度等に関する基礎知識 高齢者と介護・医療に関する基礎知識 個別の福祉用具に関する知識・技術 福祉用具に関わるサービスの仕組みと利用の支援に関する知識 修了評価試験	35
		Eハウスクリーニング講座	洗剤の取扱い、素材の注意事項、掃除方法等	3
		F高齢者栄養・衛生講座	高齢者、障がい者の栄養・食品衛生等	3
		Gオリエンテーション	受講生間でのコミュニケーション、実習前指導	20
	実 技	H基本介護技術	≪介護職員初任者研修の介護技術≫ こころとからだのしくみと生活支援技術の講座・演習 ⑩振り返り	⑨ 66
		I介護実習	介護職員初任者研修の実習体験	12
		J福祉用具技術	福祉用具の利用の支援に関する総合演習 福祉用具専門相談員の介護技術 福祉用具の活用、福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	24
Kハウスクリーニング		清掃現場実習	3	
L調理実習		高齢者、障がい者対応調理実習	3	
訓練時間総合計 344 時間(学科 236時間、実技 108時間)				
機器設備	ベッド、サイドレール、アーム介助バー、車いす、ポータブルトイレ、簡易浴槽、杖、プロジェクター等、講座に必要な備品はすべて準備			